

# 株式会社 JVC ケンウッド

事業所敷地面積：20,512 平方メートル 止水型ビオトープ約 20 平方メートル

調査地は 2006 年に所内に設置された「共存の森」と位置づけられた緑地にあるビオトープ。

お話を伺った方 吉城健一さん=Y インタビュアー ショウジョウトンボ=S

※ショウジョウトンボ……羽化したときは黄色、オスは大人になると真っ赤になる。



## 生物多様性日本アワード受賞しましたね！

**S** JVCケンウッドさんのトンボ池、今年もおじゃましました。いつも利用させてもらってありがとうございます。

**Y** いえいえ、今年もたくさんのトンボに来てもらえるように管理に励みます。



2017 年は「生物多様性日本アワード」を受賞しましたね。

**Y** はい、フォーラムに参加している企業として光栄です。社内でもイントラネットで広報したり、会社全体のホームページにリリースとして掲載してもらったり、アニュアルレポートに掲載されるなど、会社としての CSR (企業の社会的責任) 活動の 1 つとして認識されたと思います。

**S** ビオトープの存在は所内ではひろまっていますか？

**Y** ビオトープの位置が社員の通用口とはちょっと離れた位置にあるので、なんのための水場か知っている人もいますが知らない人もいます。その方々が今回の受賞のニュースを通じて「あの池はそういう意味があったんですね！」と声をかけてくれることもあり、私たち関わっている部署の励みにもなりましたね。

## 活動の隠れた苦労話などありますか？

**S** ビオトープがあることは僕たちにとって助かるうれしいんですが、手入れや維持など大変ではないですか？

**Y** そうですね、トンボのみなさんが利用し始める 5~6 月の前には、ちゃんと水面が見えるように水草刈りをしています。水があるだけで結構水草が増えるので、そのときはフォーラム事務局の方にも来ていただいて一緒に作業します。ヨシを抜くときはちょっと大変！ 根が深く入っているので、力を込めて抜いていますよ。

**S** お陰で水面が見えて安心して訪れることができます。ありがとうございます。

**Y** この水草は他の場所でお役に立ったりもしているんですよ。以前、神奈川県の幸ヶ谷小学校でビオトープを作る際に入れる水草に使いたいと、先生と生徒さんがいらっしゃって水草を採取していかれました。

**S** そんな広がりもあるんですね。私たちもこれからもまたおじゃましますので、どうぞよろしくをお願いします。

**Y** ぜひ、たくさんの仲間と来てください。当社のビオトープは小さめですが、専門家の方には質が良いと評価していただいております、メダカやゲンゴロウの仲間も住んでいます。冬にはカモもやってきます。春から夏には、昨年より多くのトンボのみなさんと会いたいです。

## 京浜臨海部の企業同士のつながりは？

**S** 私たちは入場許可証も必要ないので、企業の垣根を超えて水場を利用していますが、人間のみなさんはどうですか？

**Y** 私たちもフォーラムに参加していることによって、横のつながりができているんですよ。通常だと隣り合わせていても敷地は会社ごとに区切られていますから、お隣でも他社の方と話すことはめったにないんです。でも、フォーラムでの会議で、企業同士、どんな CSR に取り組んでいるかなど情報交換するようになりました。

私たちトンボが会社同士の縁結びにもなれてうれしいです！



ショウジョウトンボ

